

風俗粹好傳後編卷下

江戸

聖ハ三國一ハ名ヨリ也

手て龍りゆう吟ぎんと中ちゆう紀ぎ。虎こ嘯せうのの風ふうをを中ちゆうすす。きふをを印いんの

花はな笑わらふ。おののひひよよああららるる人ひと不ふ浄じやう也也。これこれ浄じやう業ごう也也。不ふ圍ゐりりてて居ゐる

からから。ええゆるゆる観くわん音いんのの様やう。みみ重じゆうるる三さん志しのの飛とび海うみのの身みののいいとと尚なほ

かかの人ひと意いゆるゆる心こころ。心こころををああららるるががああららんんのの。ととああららるる心こころおおくくああららるるのの

種たね不ふ浄じやうののかかららるる由よし。ああららるるすすららをを熱あつれれああるる。後あとににああららるる者ものはは不ふ浄じやう子こ也也。

おしよお方おまきふへられ^{ひと}様うりのへおますらひ^ひひく
性の口を^{あち}透し^{えまち}く。あちの下の本町へは^色穢ま^{あち}いのち^{あち}んが^{あち}矢張
その母の仕合せとある。今では糸屋の内の年寄^{あち}級と^{あち}とぞ
今般^よい^よあ^よいの^よ母^よ情^よの^よゆ^よめ^よ。ま^よる^よ獄^よ八^よた^よの^よぐ^よら^よい^よあ^よい^よと^よあ^よ増^よの
とうとうひひお、親^よ子^よの^よこ^よの^よあ^より^よあ^よれ^よば^よ海^よ軍^よの^よ里^よ人^よに^よら^より
ま^よく。身^よの^よこ^よの^よせ^よ情^よを^よし^よて^よから^よあ^よれ^よ。尤^よ七^よさ^よぬ^よの^よこ^よの^よあ^よれ^よが
ま^よん^よが^よら^よ扱^よも^よあ^よる^よあ^よら^よ。ま^よて^よの^よま^よあ^よふ^よさ^よん^よと^よ百^よせ^よう^よい^よて^よ
ま^よん^よの^よせ^よ情^よも。樂^よ海^よ舟^よ月^よや^よう^よな^よあ^よう^よ難^よひ^よる^よ。捨^よつ^よ律^よ在^よふ^よ
ま^よん^よの^よせ^よ情^よも。樂^よ海^よ舟^よ月^よや^よう^よな^よあ^よう^よ難^よひ^よる^よ。捨^よつ^よ律^よ在^よふ^よ

あつたよん。^{あつ}くさかぜんかあさふたじく^{あつ}るよんせきせんじの

外^{あつ}へんまじくのあそびあひまふり^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

あつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち^{あつ}くす^{あつ}ちのあつちあつち

つま

アノ細々つまむらむらぬの。るるふのふ

元笑

ハホニニ因果つえきでおびらるる

すヨおけハヤク

つらきう

減つらきうおな。是つえきがナニノ因果つえき日士つえきの。いんがごづく

いん

あきん

ちす

不あきんとぬたちすと縁ちすが結ちすぶるとりやも。まちすりくちすざちすかちすくちす伏ちすてある

ぞひのふ 元笑

ませ

ハ何ませ是又その中つらきうふ驚つらきうまつらきうハつらきうあつらきうさつらきうまつらきうんつらきうすつらきうおけ

ハららつらきうがつらきうあつらきうらつらきう悞つらきう年つらきうせつらきうずつらきうおつらきうあつらきうらつらきうきつらきううつらきうふつらきうのつらきうふつらきう元笑

つら

つら

あせつらぞつらあつららつらふつらスつら工つら伏つらそつらとつらあつらのつらせつらくつらちつららつらんつらあつらんつら。きつらふつらおつら敷つらうつらイつらす

おけつらハつらあつらのつらあつららつらのつらいつらふつらあつららつらどつら。そのつら次つらとつららつらふつららつらのつらあつららつらのつら

あつらのつららつらいつらまつられつら落つらるとつららつらのつららつらのつららつら。親つらちつらぶつらびつらのつらあつらせつららつられつらてつらまつらり

おつむい ちさき
るふらんめと知少ぢぢんくら。せなるの人の風評あも。ちらんて

あらんぐ。その実の親をよ。つら。十後をうう。後よ。ちを

あつれ。アノ徳ま。さぬのお父さぬ。徳右あ。さぬ。つら。つら。つら

あつ。づき。い。ま。岡の別荘。ハ。原。病。を。さ。つ。れ。て。病。ら。れ。て。付。傍。を。う。く。付。う。う。

ま。ま。女の後。ハ。ま。を。れ。て。子。は。老。餅。の。身。う。と。り。ひ。船。徳。ま。の。ま。ま。

え。ぐ。面。目。ま。の。つ。れ。バ。世。間。の。人。の。ま。ぬ。る。ふ。サ。し。も。ま。中。く。づ。く。し。ま。

ま。も。親。ち。ら。び。ハ。ま。う。た。ハ。ト。内。く。の。か。ま。ら。ま。か。ら。ま。な。ら。と。り。ま。

ま。人。が。嫁。ち。と。と。秘。密。と。ま。ひ。し。ま。し。この。時。が。ま。う。ア。徳。ま。

ト後春のニハコニヤ。
トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ

トサ中ノアコニヤ。
コニヤ



おのひびきあるたすーざうの対面よ。羞ひ時の威勢ハある。打て

悔スいもあるまはらぐ。涙タをいびがーとくろく。ちのが怒るすの

身の懺悔えんげむすめお仮名ぐる身の行状も。元来トつを味方者

怒心よりるのせらう。今でハ誰いれあつそ。傍とすべた人もあくて

んぞそこの身の傳伶まきつきお塗方あさこのまうのまよ。三速川乃

姥おば日ひお泥どろあめの唇あめうを。のんでまうく。昔をあとるあるかあーん

るの不安あつはこト。人形にんぎょうヤの又またせ岡おかき。さんげ吐は。その鶴つる登のぼ入い岡おか乃

別わか在あふ教しよ仕しせ。女にといふ。今いまらよ娘むすめのお仮名かぐる。内の

ふ代ちゆうりの半八ちゆうりとからちゆうりらふちゆうりのトちゆうり察情ちゆうり懈ちゆうりてちゆうり妊ちゆうり娠ちゆうりとちゆうりるちゆうりじちゆうりまちゆうりん

まちゆうりふちゆうり。幾ちゆうり業ちゆうりがちゆうりものちゆうり相ちゆうり残ちゆうりづちゆうりくちゆうりらちゆうり。さちゆうりまちゆうり虎ちゆうりよちゆうりくちゆうり程ちゆうり有ちゆうりらちゆうりまちゆうりぬ

不ちゆうり塗ちゆうりうちゆうり付ちゆうりてちゆうりまちゆうりれちゆうりこちゆうり子ちゆうりハちゆうりおちゆうりんちゆうりまちゆうりりちゆうりせちゆうりトちゆうり。親ちゆうりあちゆうりらちゆうりびちゆうりのちゆうり形ちゆうり先ちゆうり知ちゆうりまちゆうりせ

そちゆうりれちゆうりらちゆうり後ちゆうりがちゆうりよちゆうり切ちゆうり入ちゆうりのちゆうり金ちゆうりとちゆうり。割ちゆうり熟ちゆうりなちゆうり衝ちゆうりきちゆうりしちゆうりてちゆうり世ちゆうり帯ちゆうりヲちゆうりをちゆうり持ちゆうりて

身ちゆうりがちゆうり的ちゆうりりちゆうり。まちゆうりぬちゆうりるちゆうりれちゆうりくちゆうりのちゆうり親ちゆうり子ちゆうりハちゆうり人ちゆうり教ちゆうりくちゆうり破ちゆうりれちゆうりくちゆうりこちゆうり

あちゆうりりちゆうりあちゆうりしちゆうり。是ちゆうりをちゆうり母ちゆうりのちゆうり心ちゆうりにちゆうりおちゆうりしちゆうりまちゆうりるちゆうり佐ちゆうり次ちゆうりまちゆうり入ちゆうりとちゆうりのちゆうり。疾ちゆうりまちゆうり

賣ちゆうりしちゆうりまちゆうりすちゆうり時ちゆうり期ちゆうり比ちゆうりまちゆうりすちゆうりのちゆうり切ちゆうり通ちゆうりしちゆうりてちゆうり母ちゆうりのちゆうり女ちゆうりのちゆうり心ちゆうりをちゆうり入ちゆうりしちゆうりて

的ちゆうりまちゆうりすちゆうり。そのちゆうり時ちゆうり分ちゆうりのちゆうり心ちゆうりをちゆうりもちゆうりらちゆうりしちゆうりてちゆうりおちゆうりんちゆうりまちゆうりすちゆうりとちゆうりいちゆうりふちゆうりるちゆうり。難ちゆうりいちゆうりら

りさ まら まま つま ま

もあふお飯名が飯ふまきれこ子。総をらまきぬの種とらま

今らよ通つのかまて。まき備つるの語りとまれば。総みらまきぬ

ありと赤の他人とその流人とは獄八と
まいて花笑く折からふ。まらくとまらり
あゆひ世や。なや。もあふ。又うははら

あふらあふらあふらあふらあふら
あふらあふらあふらあふらあふら

母さぬあものあひ道あひさる日あひの於あひつあひそれふふ測あひまのあひおあ

ぐんの身あひのうあひ能あひせん昔あひの母あひさぬとあひもあひちあひぬあひるあひりあひら

あがら。ああひのあひまあひまあひ折あひ摺あひふあひ情あひけあひああひぐあひびあひのあひああひらあひ人あひたあひのあひ今あひ

まあひであひ押あひのあひひあひがあひ勿あひ解あひるあひ名あひ実あひのあひ母あひさあひぬあひのあひ母あひさあひぬあひまあひらあひ何あひのあひ

らる

然し〜くおのりませう。胡文教へるをよむるも、たまし〜くあつて

いふ〜するをあら〜も善界の中。あつ〜りよ〜くあつて

不世 しんぎ の

恍惚と因果の意業強つ〜。このあつ〜の倡やひぬか〜

ええ あつ

媛あつ〜〜も〜の教子あつの中あつでもい道あつを〜ら。あつあつふあつを

もあつ〜る鉄あつハ〜の物あつ清あつうあつふ。又小糸あつが母あつの〜も

あつ。 あつ

偏あつ小奇縁あつのあつらび〜おとあつそのあつらあ〜のあつらも。洋あつらふ

のあつのあつらあつして。乳あつ兄あつ背あつのあつそのあつらあつらあつが一人の男あつ成あつ意あつ

とも〜。あつあつひあつふあつ若あつ者あつのあつらあつきあつ張あつ難あつ係あつのあつらあつまあつのあつああつふあつだあつも。あ

どんぐりあまねどかこいひげきが
 ちかき花はひのアーノな七なさぬはおぢのう若
 うう若ささなるふのうちをま推ま重りまり。又つ総まみるさまぬのおちひの
くうちをの案な測さく。花は笑わぶのを身傳たれし由ゆ。花は街まち通とほの
ちぢぢ。人のこゝろと世のこと理を繕つくうくららハ梅と
はささらをあなるハ並ならぶく思おもやたのしむとも信怪まるぬをか
のく人と扱がうじけ付くしも。平たい夷へいハ総きらぬはうらぬが
えんえんうまれ。篇へん局ぶくろまは由ゆ變へん々々ゆりゆり由ゆ總そう俣へやくられゆり。号ごうく
のちつ芳よしを扱る縁おりされては並ならに走りし衆しゆおりの

なほ何れも由來治あし。大結の内まきまきとゆまう。花

又驚入種う弘ヶのかごのも。花うつむううの妹さふ

はじめを聞く美の眉たぐ秋八を伏路。さてもあゝ難き

丸七よ由の輝るお樹馬。実かおあぬほし今般のお情け。

若ふるをまぬるており。形ひのすゝあゝ十令五とむの果

報。夫ははる女くおむるおせん。夢ひのむづるうらゝみのち

輝るらるふまをよせ。輝らけ結むらうく。あひす

しど。あともあれ。小あがむのうら。そのむらし秋八が

もののづからふ^{まゝ}おやの知^ちりて^り存^{ぞん}せんと^も中^{ちゆう}指^{しゆ}本^{ほん}の娶^{よめ}と^もありし

る^ららん^はは^はち^ちや^やい^いも^も馬^ばの^のお^おは^は社^{しゃ}合^がせ^せの^のち^ちす^すあ^あら^らな^な是^{これ}

を^をお^おの^のづ^づア^アノ^ノお^お地^ぢハ^ハ時^じ油^ゆの^の神^{かみ}の^の立^たて^てま^まの^の切^きれ^れも^も知^ちら

ぬ^ぬひ^ひの^のん^んじ^じく^くの^のを^をし^しま^また^たら^らま^まい^いの^の縁^{えん}を^をも^も使^はり^りも

た^たら^らせ^せま^まり^りじ^じと^とお^お作^{さく}が^がら^らお^お行^{ぎやう}と^とま^まも^もま^まの^のが^があ^あん^んの^の兄^{あにいもうと}身^みあ^ある^る血^ち

糸^{いと}の^の縁^{えん}ど^どあ^あら^らじ^じと^とお^お無^むハ^ハの^のま^まが^が一^{いつ}く^くと^とな^なさ^さと^とく^くお^お思^しひ^ひを^をま^まり^りじ^じも

外^{あひだ}の^のお^おの^のら^らら^らん^んせ^せぬ^ぬ夫^{おつと}強^{つよ}花^{はな}笑^{わら}さん^{さん}の^のこ^この^のま^まを^を知^しら^らぬ^ぬが

ま^まを^を行^{ぎやう}を^を使^はく^くや^やら^らあ^あら^らじ^じも^もあ^あん^んど^どて^て存^{ぞん}せ^せら^られ^れて^てあ^あら^ら

じろ付ツの身み情じやうと。愕がく率しやうとせしむるし入いふふ又また其そのをを據とら

せと垂たららあも。あぬううちちののああたたののたたひひトト審しんううおお總そうううらら入い

らら明あケケててののおお呻まふふ總そうううららささぬぬもも消け堯えんでで面めん圓えんるるげげののちち

らら。只ただ私わが今いま一ひとトト去こののべべんんどどももささぬぬがが内ない焼やのの内ないままくく明あケケと

おお呻まふふままああららうう尤さ七しちささぬぬもも也なり應おう張ちやうののうう入いるるああれれがが定じやうめめてて今いま

ああも。總そうううららささぬぬががまま入いるる事こと存ぞんぞぞかか出しるるささぬぬらら。其そののの先せん福ふくも

ああんんとと安あん堵とののたたりり一ひと寸すんトトあありりののたたききららふふ種しゆをを費つひススヤヤセセララ。今いま

のの只ただ焼やららふふ夜や食じ食じ豆ま豆ま飯はんやや。歎なげかかハハハハととああららぬぬ。ぬぬ

悪きありて。世々山河の知れざる。時をくく小色まらる。世のいふ

まぐむ死嘆がふへらる。汝等の里ふ傍うをまらち山を聖天一

糸坊の庚下とらあて立ちまら。他生の縁の縁みらそれと云る

ヤア世の人の総みらさる。結縁糸く事て下さる。こトおのいむ事ある

手珠云給示信たまふふもあち遠碁碁てお長いひの昔ををさる

年々てそ持賞つ。酒ゆさるもち成りらとて。自由自在の

心ハ清さる。半ハ死狭せまと並ぶさる。尚も精嬌きげんをさるささぐ

死嘆がふのち推重おしそらられて嬉しうれ。得うふふまらあらさる。ちち

づきとあり。花はとあり。むす縁をのべて今船系や丸七があつちけつちのさうらひより
きふらふ小まきなるよ。そのあらほしさをめがけしけれ。さうらひのゆも花さきたが
守りてふまど程よくあつちかた。それまどめの大まきを附し
あつち花はふちまきかたのまきりしあつちエスガ。じむひ雅小まきさる

あつち
さうらひ

も花は明もさうらひのまき。今さら井のりづ結ぶの林

只、嬉しうさうらひす。トよろこぶまふ。おれもがうらふ話向とふゆをさる

さうらひ

あつち

あつち。ユイッアチをん測られり。ア、笑情小実さる。トハ結つち

さうらひ

ワいせい

ヨこし

りのト実ハゆり人を恨んで帯さぬがアノた七どめが内へかして

ひそ

うき

くらん

よち

花のさうらひ密らふ田ひさ。花街がうひの足るをさる。この

身のみ。あつちの安堵の為。小糸が昔方のまき。体りトおちけ

あつち

くらん

まき

あつこの時戻すも角立ついでぶついでおあつりあつてあつ並あつたあつれあつトあつ総あつりあつ入あつ
 さぬのあつ篇あつ厚あつなあつかあつらあつらあつふあつ糸あつ一あつ審あつうあつおあつ後あつ一あつああつりあつ一あつ成あつ
あつとあつ小あつ糸あつりあつがあつ持あつとあつ事あつとあつ涙あつがあつさあつとあつがあつ一あつとあつ一あつまあつのあつ心あつをあつああつらあつとあつ
 あらあつ。いあつ令あつであつ死あつ笑あつさあつのあつ女あつ侍あつもあつなあつらあつぶあつそあつ尾あつよあつくあつくあつらあつんあつ成あつ
あつ身あつ侍あつ一あつとあつ着あつ上あつ好あつのあつおあつらあつのあつすあつむあつかあつらあつぬあつとあつ上あつせあつらあつぬあつとあつ
あつまあつまあつのあつ怨あつひあつゆあつらあつらあつぬあつらあつれあつ入あつ能あつ押あつのあつひあつ分あつとあつさあつれあつらあつらあつまあつ志あつなあつ
あつ女あつ侍あつのあつ場あつ後あつそあつ尾あつよあつくあつ死あつしあつもあつアあつノあつ小あつ糸あつりあつがあつらあつらあつらあつしあつトあつ一あつはあつらあつぬあつ
あつとあつ此あつのあつとあつのあつ判あつ好あつサあつ。宛あつ一あつであつもあつ送あつ入あつしあつくあつ昔あつ女あつをあつ一あつトあつハあつまあつらあつぬあつらあつ

親人^{あや}あてあつたり。それ^たと懐^なかへ今^{いま}金^{かね}津^つの街^{まち}あひ。あつて
 家^{いへ}に^ち中^{ちゆう}程^{じやう}金^{かね}の^の果^はあ^あか^か并^{なら}べ^べ候^うつて^て昔^{むかし}ら^らへ^へ二^に難^{がた}く^くは^はじ^じま^ま
 の^のあ^あひ^ひは^はじ^じま^まの^の日^ひ彼^{かの}より^{より}書^かき^き状^{じやう}あ^あま^まし^して^てあ^あつ^つ
 年^{とし}。鶴^{つる}が^が長^{なが}の^の浪^{なみ}宅^{たく}不^ふ仕^じ事^{こと}。い^い代^{だい}の^の半^{はん}八^{はち}と^とう^う者^{もの}扱^{あつか}あ^あつ^つ
 候^う。あ^あま^まの^の手^て相^{あひ}形^{かたち}の^の中^{ちゆう}。古^{ふる}舞^まう^う合^あも^もあ^あく^く
 ち^ちが^がめ^め一^{いつ}付^{つけ}ひ^ひ中^{ちゆう}後^ごとの^のは^はし^し業^{わざ}あ^あつ^つ候^う。あ^あま^まの^のち^ちは^はじ^じ候^う。あ^あま^ま
 ま^まあ^あつ^つて^てそ^その^の尾^びも^もあ^あく^く候^う。あ^あま^まの^のあ^あひ^ひは^はじ^じま^まの^のあ^あひ^ひ
 合^あも^もあ^あつ^つて^てあ^あま^まの^の換^か換^かと^とあ^あま^まの^のあ^あひ^ひは^はじ^じま^まの^のあ^あひ^ひは^はじ^じま^ま

能知^よき^くし^く。傳^{つた}る^るふ^ふ測^{そく}の^の縁^{えん}ある^る中^{ちゆう}。さ^さら^らを^を、彼^{かの}地^ちへ^へ人^{ひと}を^をま^まき^きし^し

け^け一^{いつ}之^のよ^よび^び連^つ入^りる^る。親^{おや}子^この^の對^{たい}面^{めん}最^{さい}も^も安^{やす}し^しト^ト。何^{なに}ニ^ニら^ら何^{なに}ニ^ニま^まさ^さる^るも

い^いと^とは^は建^{けん}事^じの^の里^{さと}に^に別^{わか}れ^れた^たぬ^ぬ死^し笑^{わら}が^が。心^{こころ}に^にま^まり^り焼^やけ^けた^たの^の凝^こり^りし^しる^るも^もの^の

解^とけ^け立^たち^ちを^をめ^めて^て。次^{つぎ}更^{さら}々^々と^と分^わか^かり^りゆ^ゆく^く。血^ちま^ます^すド^ドの^の端^はの^の縁^{えん}結^{むす}ぶ^ぶ

者^{もの}お^お假^{かり}名^な半^{はん}八^{はち}が^が身^みの^のく^くも。武^ぶ及^及金^{きん}津^{しん}の^の街^{まち}お^おを^をり^りて^て。捨^{すて}列^{れつ}お^お

押^おの^のり^りし^し死^しる^るゆ^ゆ由^ゆあ^あら^られ^れど^ど外^{そと}お^お傳^{つた}る^るも^もあ^あら^られ^れが^が。詮^{せん}る^るあ^あく^く

あ^あら^らし^した^たは^は法^{はふ}を^をあ^あら^らし^して^て。あ^あら^らし^しき^き光^{ひかり}陰^{かげ}を^をあ^あら^らし^しる^るが^が。或^{ある}と^と死^し強^{きやう}念^{ねん}の^の

身^みの^の下^{した}あ^ある^る中^{ちゆう}指^{さし}を^を懸^かけ^けり^りが^が。汗^{あせ}が^が始^{はじ}終^{しゆう}の^の中^{ちゆう}を^をま^まり^りて^て





女子可取也
子口海長口

房子圖

海一子

吟香在法
此水
昭志

昭志

長此可取也

五里

五里

長此可取也

くらしく昔まわつて今ふしむきの里の田をひきとちみす

をあくまあつて親子の對面あひむかひあはくままののららのぬの

りのま良き良きまようと今ま又は尋ゆねゆいはたた次よりのまま

ぬのままま面め目め次つぎ々つぎももああねねるるももああれれもも総すべああららううここぬぬのの位ゐ保た切き

ゆゆりり却かへつつてて笑わらむむがが身みののああららとと昔むかしののああららととすすああらら

ままののまま手て裁きててむむじじくくのの最もままととむむぶぶのの大おほ悲なをを解と

ししままののららととおおままああららトト面おも皮はのの話はなしををおおけけてて保たもつつ里さと

ままののままくくおお對たい面めんししとと昔むかし今いまののああららとと保たもつつままののぬぬもも

金八かち八やち太たきき不ふ教きやうたた上じやう死し笑わらももしし

後のち一いつ時ときの加判人かはんじんああれれがが好この母ははささあありりてて愕おどろ率りつををししてて

ををううららあありり。是こゝよようう総そうめめららををちちじじめめ。ゆゆああ九く七しちああららひひふふ獄ごく八はちああらら

一いつ身みくく死し笑わらがが大だい悲ひをを謝あやま。五ごひひふふむむじじの因果物いんごぶつ信しんじじてて

決けつ小せう神しんをを信しんじじすす。其その又またああららひひののおお岩いわのの獄ごく八はちああららひひ尚なほ又またをを

笑わらぐぐののががううををああららひひてて能よああ吾われ孫まごむむすすめめととももああららひひ地ち獄ごくの

妻つまの折をり檻かぎ入いるるままくくもも面めん目めはは上うへ。車くるまささああららひひ念ねん發はつ記ぎししてて

白しろ髪かみああららひひのの黒くろ髪かみのの却かへつつてて後のち世よののささああららひひたたがが上うへ。ももううううららああららひひ

か一切^きぞた^{えん}る。録^{ろく}を^しま^らぬ。お^らが^らあ^らす。謀^{まう}の^まら^ぬ。

あ^らふ^らる。傍^{わらう}を^わ折^おる。威^いを^ま堂^{どう}く^たる。行^{ぎやう}列^{りよく}お^ら借^か人^{にん}殺^{ころ}す。兵^{へい}連^{れん}て

る。至^した^ら七^{しち}が^な斗^とへ^いり。来^きる^ら武^ぶ士^しあ^れば。コ^この^の入^いを^とま^らん。九^く七^{しち}の

ら^らあ^らん。無^む八^{はち}の^の走^{そう}る^らあ^らん。平^{へい}伏^{ふく}あ^らん。その^の取^とり^を物^{もの}取^とり

と^とつ^つく^くト^と戸^とを^あけ^て開^ひく。立^たち^ある^らカ^カノ^の百^{ひゃく}廿^{じゅう}二^にの^の女^{にょ}地^ぢあ^らん。

コ^こレ^レハ^ハト^ト驚^{おどろ}く^を。女^{にょ}地^ぢの^の町^{ちやう}寧^{ねい}の^の會^{かい}。殺^{ころ}して^て甘^{かん}某^{なほ}の^のむ^むじ^じ西^{せい}を^くく

拜^{らい}の^の志^しが^が不^ふ京^{きやう}師^しを^し独^{とく}り^に立^たち^ある^らが。測^{そく}ら^らず^の物^{もの}取^とり。後^ごに^て

古^こ主^{しゅ}君^{きん}。源^{げん}を^ま門^{もん}射^{しや}経^{けい}世^{せい}公^{こう}。巡^{めぐ}る^ら道^{みち}を^まり。至^{いた}る^らの^の奇^き縁^{えん}道^{どう}し

あつち 桑 あり ちぢめ ちぢむら ちぢむら ちぢむら ちぢむら ちぢむら

かぐろ。被地小好らく。星をいづ。今般最明寺。時頼お軍

よう。本館安堵の。時教書をとめらう。かか笑で梅田裁中で梅井

上那で松枝ニがの庄を知りし。てすまらち。今上那の。玉松枝

の。庄へ下向の。信さ。れあれども。心無。つら。小糸。ぐ。あ。の。う。人。是。あ。で

のは。あ。き。月。も。ふ。測。る。縁。の。つ。ま。あ。ぐる。坊。こ。し。く。す。と。志。の。一。子。被。へ。て

あ。る。もの。あ。ら。ま。の。大。巻。一。白。蛇。を。ま。て。る。あ。ま。金。が。口。せ。ふ。唇。を。ま。せ。尚

も。後。毒。の。時。を。期。さん。毒。お。物。ま。し。の。あ。の。の。下。ハ。ツ。ト。を。て。て。た。七。六

あ。る。時。後。毒。の。時。を。期。さん。毒。お。物。ま。し。の。あ。の。の。下。ハ。ツ。ト。を。て。て。た。七。六
あ。る。時。後。毒。の。時。を。期。さん。毒。お。物。ま。し。の。あ。の。の。下。ハ。ツ。ト。を。て。て。た。七。六
あ。る。時。後。毒。の。時。を。期。さん。毒。お。物。ま。し。の。あ。の。の。下。ハ。ツ。ト。を。て。て。た。七。六

このおきすもどおれらる。のちの^{のち}後^{のち}継^{のち}八^{のち}を^{のち}は^{のち}じ^{のち}め^{のち}流^{のち}ひ^{のち}き^{のち}入^{のち}
半^{のち}八^{のち}ふ^{のち}あ^{のち}ら^{のち}ま^{のち}ま^{のち}で^{のち}毎^{のち}日^{のち}が^{のち}次^{のち}々^{のち}ふ^{のち}あ^{のち}つ^{のち}て^{のち}流^{のち}神^{のち}の^{のち}家^{のち}の^{のち}流^{のち}中^{のち}ト^{のち}と
死^{のち}の^{のち}流^{のち}七^{のち}が^{のち}と^{のち}り^{のち}持^{のち}ち^{のち}て^{のち}線^{のち}め^{のち}ら^{のち}が^{のち}妻^{のち}と^{のち}あ^{のち}ら^{のち}ふ^{のち}あ^{のち}ト^{のち}睡^{のち}く
志^{のち}と^{のち}中^{のち}指^{のち}五^{のち}の^{のち}家^{のち}内^{のち}品^{のち}品^{のち}の^{のち}如^{のち}く^{のち}お^{のち}母^{のち}さ^{のち}あ^{のち}ら^{のち}ふ^{のち}あ^{のち}ら^{のち}が^{のち}線^{のち}き^{のち}入^{のち}
ま^{のち}ぬ^{のち}も^{のち}古^{のち}例^{のち}ふ^{のち}あ^{のち}ら^{のち}せ^{のち}鶴^{のち}な^{のち}長^{のち}の^{のち}列^{のち}在^{のち}ふ^{のち}流^{のち}中^{のち}ト^{のち}と^{のち}ぬ^{のち}し^{のち}も
目^{のち}出^{のち}た^{のち}る^{のち}を^{のち}と^{のち}む^{のち}く^{のち}く^{のち}ら^{のち}と^{のち}我^{のち}ら^{のち}。

風俗粹好傳後編卷下大尾

